

留学報告書：2024年6月

花田美月

2021年度奨学生の花田美月です。UC Berkeley 数学科の博士課程に所属しています。この報告書では3年春学期についてご報告いたします。

研究では去年から続いている共同研究のプロジェクトの論文が仕上げの段階に入ったり、個人の研究でも初めて一人で論文を書いたり、少しずつ成果が出始めています。また、今までほとんど手計算だけで乗り切っていたのですが、パソコンに頼ることを覚えました。私は重度の機械音痴で、ちょっとしたコーディングも極力避けてきたのですが、ついに諦めました。と言っても大したことをしているわけではないのですが、私の中では大きな進化です。

また、今学期の目標は「コミュニケーション能力を高めること」でした。俗にいう「コミュカ」というより、数学におけるコミュニケーション能力についてです。この一年間、自分の頭の中にある数学やアイデアを端的に分かりやすく人に伝えるためには、どのように言語化すればいいのか分からず、モヤモヤすることが多々ありました。今年の5月には初めて学会で発表する機会もあり、その準備をする際にコミュニケーション能力の大切さを改めて実感しました。今後も意識していきたいです。

私は家ではオフモードでいたいタイプなので数学をするときはオフィスに行っていたのですが、流石に飽きてきてしまいました。数学の研究はラボと違い立ち仕事もないので、毎日何時間も同じ机に座ってずっと紙を見つめていると頭も回らなくなってくるので、キャンパス内の図書館に行ったり、他の建物の公共スペースに行ったり工夫しています。週末は近所のカフェに行っておしゃれなドリンクと共に仕事をするのが楽しみです。(本当に数学の研究って地味なので面白い話がなくて申し訳ないです)。

6月の頭には学会のためにボストンに行きました。ボストンは大学時代によく遊びに行っていたので馴染みがあり、好きな街です。初夏のボストンは天気がよく特にお気に入りなので学会に行くのを楽しみにしていました。ボストンでは大学の友達の家泊まらせてもらったので、昼は数学の話を聞きながら頭を使い、夜は彼女と家でダラダラしたり、懐かしい行きつけのご飯屋さんに行ったりとリラックスできたことにより、一週間疲れすぎることなく充実した一週間を過ごしました。

また前回の報告書でも少し触れたのですが、ついに免許を取りました！基本的にパークレーでの生活は徒歩とバスだけで問題ないため、免許を取ってから一度も運転していません。今後何かあった時に役に立てればなと思います。

最後になりましたが、さまざまな形でご支援をしてくださっている船井情報科学振興財団の皆様に心より感謝申し上げます。残念ながら今年の夏の交流会には参加できないのですが、冬にお会いするのを楽しみにしています。